

## 糖尿病センター

2018年度は、「糖尿病療養指導2週間コース」紹介患者に対し、地域連携パスを使用し継続支援の充実と肥満外来システムの構築に取り組んだ。

肥満外来を毎週月曜日午後開設し、外来・入院クリニカルパスを用いて療養指導を開始した。

### 【人員体制】

医師、専属看護師1名、兼任：管理栄養士12名、理学療法士8名、検査技士2名、薬剤師11名、視能訓練士1名、歯科衛生士4名、病棟外来看護師16名であり、日本糖尿病学会認定専門医7名(うち指導医4名)、糖尿病療養指導士20名が在籍し、日常診療やチーム医療を活かした療養指導、糖尿病関連重症症例の治療、研修医・スタッフ教育に取り組んでいる。また、日本糖尿病学会認定教育施設として、専門医研修を行っている。

### 【業務内容】

#### A. 【糖尿病患者リスト作成】

HbA1c数値が6.5%以上の通院患者を「糖尿病患者管理リスト」に登録し丸糖患者とする。2018年度の累積登録数12,777名、通院数2,055名(投薬あり)。

#### B. 【小児糖尿病外来】

小児糖尿病外来は月曜日の16:30から行い、通院しやすい環境を配慮している。

#### C. 【外来患者対象糖尿病教室の企画・運営】

##### a) 糖尿病教室 入門編：

年2回開催 14:00～16:00

松波総合病院・南館1階 MGH ホール

「糖尿病についてとその治療法」

(2018年度参加者延べ62名)

##### b) 糖尿病教室基礎コース：

年4回開催 14:00～16:00

松波総合病院・南館1階 MGH ホール

4回シリーズで専門医師、専門スタッフが糖尿病について説明

(2018年度参加者延べ117名)

##### c) 特別講演：

春、秋の年2回開催 14:00～15:00

松波総合病院・南館1階 MGH ホール

(2018年度参加者延べ74名)

春：2018年5月12日(土)

『健康寿命と糖尿病』

松波総合病院 副院長 林 慎先生

参加者50名。

秋：2018年11月10日(土)

『糖尿病と腎臓』

～透析にならないために～

松波総合病院 腎臓内科医長

矢島 隆宏先生

参加者24名。

#### D. 【入院患者対象糖尿病教室の企画・運営】

毎週水、金に南館7階病棟ディールーム1ヶ月1サイクル13:00～14:00に開催、2018年度101回開催、参加者延べ615名。

#### E. 【糖尿病教室実習会の企画・運営】

参加人数 各30名

**調理実習会**

「揚げ物を工夫しカロリーオフに挑戦しよう！」

**運動実習会**

「第2回 松波大運動会」

**野外実習会**

「モザイクタイルミュージアム・織部ヒルズ・湯の華アイランドの旅」

#### F. 【入院】

2018年度 糖尿病入院患者延べ数

主病名118名、その他病名1,941名

高血圧症・低血糖昏睡をはじめ重度の血管合併症併発例、後腹膜腫瘍や糖尿病性壊疽などの重症感染症合併例、肝臓移植後の血糖コントロールや糖尿病合併妊娠の管理など、糖尿病重症例の入院診療にあたっている。

#### G. 【糖尿病療養指導2週間コース】

2000年6月より「個別型糖尿病療養指導入院2週間コース」を開始し、医師、専属看護師、管理栄養士、理学療法士、検査技師、薬剤師、視能訓練士、病棟外来看護師からなる専門チームによる、各患者ごとにきめ細やかな療養指導入院を行っている。2018年度受講者は28名で約6割が連携医(15施設)からの紹介(紹介元医療機関125施設)

## H. 【生活習慣病セミナー】

院内・院外スタッフ向けの勉強会で、連携医のスタッフとの間の交流を深め、強固な連携関係を築くことを目標としている。

## I. 【糖尿病透析予防指導、企画・運営】

2012年から糖尿病による透析導入を減少させる目的で、透析予防指導が新設された。対象は糖尿病腎症第2期以上の外来患者で、専任スタッフ（医師と看護師または保健師、管理栄養士等）が連携して個別に生活指導を展開している。透析予防指導を継続している患者は検査値の改善が得られるとともに意識・知識・実行度が高まっていることから、糖尿病合併症発症予防や進行防止に繋がっている。2018年度の指導実施患者人数は91名。

## J. 【糖尿病地域連携パス (GP-012)】

「糖尿病地域連携パス (GP-012)」は各部門のスタッフ連携を持ち円滑に稼働できるようになった。2018年度実施数16名。

## K. 【院外患者関連施設との接触、交渉、連携】

## 【コ・メディカル連携セミナー】

連携医院の先生方だけでなく各施設のスタッフと当院のスタッフが密な連携関係を築き、ご紹介いただく患者様がより安心できる環境を整えることを目指している。

## L. 【糖尿病患者友の会（松友会）事務局運営】

「松友会」は1996年に設立、2018年度会員数101名。

## M. 【糖尿病医療関連加算算定数】（延べ件数）

糖尿病透析予防指導（200）	70,000点
フットケア外来（47）	7,990点
インサ初期導入加算（104）	60,320点
持続血糖測定器加算 {リブレ Pro}	
	(12) 78,360点
FreeStyle リブレ使用件数	12件

## N. 【肥満外来】

肥満は高血圧症・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病をはじめとして、数多くの疾患の危険因子であることから、世界規模で取り

組むべき問題となっている。

2019年3月より肥満外来を毎週月曜日午後開設し、肥満治療外来クリニカルパス・肥満治療入院クリニカルパスを用いて減量治療を開始した。

## 【その他】

## 1. 発表実績

第61回日本糖尿病学会年次学術大会  
(2018.5)

「個別型糖尿病教育入院2週間コース受講患者の継続支援の在り方について検討する」

山田吉子、前田朋子、黒宮浩嗣、林慎

第61回日本糖尿病学会年次学術大会  
(2018.5)

「糖尿病薬剤師外来実施による外来糖尿病患者への介入実績と今後の展望」

重田和也、奈良由里絵、市川綾華、久根美優、松崎南美、黒宮浩嗣、松本利恵、野田孝夫、山田吉子、林慎

第5回日本CNS学会年次学術集会（2018.6）

「急性期病院における糖尿病看護の充実～外来看護師に求めるケア～」

山田吉子

第23回日本糖尿病教育看護学会学術集会  
(2018.9)

「当院における糖尿病チーム医療推進に向けての取り組みについて検討する」

山田吉子

岐阜県立看護大学紀要第19巻1号（2019.3）

「急性期病院における糖尿病看護の充実～入院・外来糖尿病患者の思いに焦点をあてて～」

山田吉子

[文責：林 慎]

